＜愛光学園同窓会＞

令和６年３月 常任理事会　議事録

○ 開催日時　：　令和６年３月 22 日（木）　 18：30～19：50
○ 開催場所　：　愛光学園ドミニカンセンター、ZOOM ミーティング
○ 出 席 者　：　別紙　計 25 名（会場 12 名＋ZOOM 13 名）
○ 司　　会　：　宮嶋 嘉則　副会長
○ 議事録署名人　：　鈴木　貴明 理事、首藤　健二 理事
○ 議事録作成者　：　森元 志郎 事務局長

Ⅰ．会長挨拶　（会長）

皆さん、こんばんは、只今から３月常任理事会を開催致しますが、この会場には 12 名の役員の方々が参加していただいており、Zoom では各地区・支部の理事の方々を含めて 13 名ということです。この Zoom を効果的に利用することで、合わせて 25 名の方で始めさせていただきたいと思います。

最近、やっぱり三寒四温と言いますけども寒かったり暑かったり、今、風邪を引かれてる方も多いようです。今も医療専門家の相談役にお伺いしましたら、コロナも相変わらずまだ続いているということで、これもなくなることは無いだろうというようなことで言われております。無くならないということは、日常の生活の中に入ってきたのかなということで、逆に言うと、そんなに意識しないで通常の生活が維持できるかなということになるのかもしれません。

今日もいろいろと議題もございます。また活発なご議論をいただきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅱ．協議、報告事項

１．同窓会担当教諭 交代について

（司会：副会長）

まず、第一番目の協議事項というか報告事項になろうかと思うんですが、ここ１年同窓会の担当教諭としてご活躍いただきました先生が、ご退任ということになりました。

（担当教諭）

４月から同窓会担当主任ということで、皆様とお付き合いさせていただいてきておりましたが、３月の人事で４月から交代ということになりました。

引継ぎの方はしっかりやっておきますので、引き続きよろしくお願いします。
どうも１年間ありがとうございました。

２．各地区・支部補助金について
各地区・支部相互交流補助金
（会長）
各地区支部補助金についてということで、これは前回のこの常任理事会も議題として検討をした内容ですけども、この間、各地区・支部が数多くできてきたということでコロナも沈静化してきており、同窓会を活性化していく一つの手法として、地区間の交流というのをもう少し積極的にやったらどうかというご意見が出ました。ただ、かなり遠隔地への移動というようなこともありますので、なかなか各地区・支部単位で負担というのは、きついというご意見もございます。この間、色々議論をした中で今は同窓会全体の予算もそれほど潤沢ということではないので、ある一定額を決めてその範囲の中で各地区・支部の方で判断していただくということで、スタートしたらということに致しました。額としては、各地区・支部それぞれ 10 万円とします。
　具体的には、各地区・支部間で交流された場合には、その旅費宿泊費の請求を本部に送っていただければ、10 万円の範囲の中で各地区・支部にお金を入金させていただくという形の管理をしていこうかなと考えております。
（関東地区代表）
各地区・支部間交流費補助の 10 万円を本部で管理されるという話でしたけど、地区によって単価がもちろん違いますし回数も違うと思います。場所によると思いますが 10 万円だと１回か２回で消化されてしまうと思いますから、例えば関東はいろんなところに行くときに、2 万円は本部から、それ以外は関東地区予算や自己負担という考えでいきたいなと、個人的には思ってるんですけど、そういうのもありですか。
（会長）
運用上の問題だろうというふうに思いますけれども、もう少し潤沢に会費があればもっと補助額を増やして積極的にいけるんですけど、70 周年を終えて今回ある程度収入も見込めてきて、余剰が出てくるということを想定して考えてるのが 10 万円でスタートしていこうということでございます。
　これではまだまだ本当に十分ではないものですから、その運用の方法については各地区・支部の方でいろいろと工夫をしていただいて、その中で 10 万円を限度に、本部の方に、都度々々、申請していただくという形を取ろうと考えております。
運用上、いろいろ応用をきかせていただくのは問題ないと思います。
（九州地区代表）
実は前回、中国地方支部に行ったときに、交通費、宿泊費等は自腹で登録費（総会会費）は九州地区の方から出してもらいました。例えばこれに関して、いわゆる交通費が対象になるということでよろしいんでしょうか。そうした場合、交通費は本部へ請求、総会会費は地区同窓会、宿泊費は自腹という処理になりますか。
早く予約を取ることで、安く交通費と共に宿泊費を抑えられた場合は、10 万円以内

で、何回か参加できると思います。それも構わないということですね。
（会長）
はい、今のことに対してのお答えとして、正副会長会等で検討した事項としては、要は 10 万円を上限として、各地区・支部間の交流費補助としてお支払いしようというものです。その交流費の主な費目は、交通費だろうということの想定だけでございます。その細かな中身については、各地区・支部の方で責任を持って判断していただければ問題ないと思います。それぞれの判断で、宿泊費を含んでも構わないということです。

（会長）
それからもう一つ、各地区・支部の補助金について、やはりこの間いろんな支部が、出来てきた中において、まだまだ数的に少ない地区・支部においては、従来の割振りで考えていた時にその金額では運営ができないということで、最低保証額の増額を考えております。事務局長から具体的に説明してもらいます。
（事務局長）
正副会長会で協議した結果、最低保障額を増額したらどうかという意見が出ました。先ほど、越智会長が説明された各地区・支部間交流のための補助金 10 万円とは別に、最低保障額を以下のように増額する案が出ております。

関東地区：50 万円から 100 万円	関西地区：20 万円から 30 万円
京滋の会：10 万円から 15 万円	九州地区：10 万円から 15 万円
中部地区：10 万円から 15 万円	沖縄支部：10 万円から 15 万円
北海道地区：10 万円から 15 万円	中国地方支部：10 万円から 15 万円

各地区・支部の代表者の方ご意見ございますでしょうか？
（関東地区代表）
関東の場合、例年の補助金は、多くの学生が総会に出席してくれていることから最低保証額以上になっておりますので、それ程影響はないと思われ、どちらかというと新しく立ち上がった地区・支部が手厚くなるのは良いことだと思います。賛成します。
（関西支部会長）
最低保証額の増額は、ありがたいことだと思っております。
（京滋の会代表）
特にありません。ありがとうございます。
（九州地区代表）
ありがたく頂戴したいと思います。
以下の方々は、後からの参加でした。
（宮崎中部地区代表）（仲本沖縄支部会長）
（佐川北海道地区監事）（山根中国地方支部副代表）　　それぞれ賛成です。
（司会：副会長）
会計担当副会長の方から、先日の卒業式における前受金徴収を含め、会計的側面から

のご意見をお願いします。

（会計担当副会長）

先日の 66 期生卒業式の時に前受金徴収で、当日 172 名からの入金があり後日 49 名の方に振込票を送りましたところ５名から入金があり、合わせて 177 名でした。昨年 65 期の前受金の数が 178 名でしたので、ほぼ同数です。今年の卒業生数は 221 名でしたので８割の方からの入金がありました。

一般同窓生からの年会費の入金もほぼ順調にきておりますので、この活動の原資としていただけますし、今回はキャリアデータベースにも お金が要りますから、一時的にはマイナスになるかもしれんませんが、通常の経費として負担できると思います。ですから、今回の交流費補助と最低保証額増額によって、活発に交流、活動をしていただきたいと思います。

（司会：副会長）

卒業式での前受金徴収は、昨年から始めたのですが、今年も昨年同様盛り上がりをみせました。同窓会担当の先生から、各御父兄から卒業時での学校債清算からの振込承諾をいただくという提案もありましたが、今年のように我々が卒業式に出向いて、ご父母に対面し直接お願いした方が効果的かもしれません。来年もこの方式でも良いのかという思いもあります。

（会長）

今年は皆さんご多用の中、正副会長全員が参加していただき、2 回 3 回とアタックをしていただいたということもあって、本当に多くの方が同窓会に賛同いただいたのは意義として非常に大きかったと思います。

（司会：副会長）

それでは原案通り、各地区・支部間交流補助金として１地区・支部当たり 10 万円を上限として、本部に申請していただくことにします。運用方法に関しては、交流の目的であれば、宿泊費を含めた交通費とする、何回かに分ける、あるいは何人かで 1 回で行くなど、各地区・支部の判断にお任せするということで進めていきたいと思います。

また、各地区・支部の最低保障額を、関東地区は 100 万円、関西支部は 30 万円、その他の６地区・支部は 15 万円に引き上げることと致します。

→ 承認されました

３．各地区・支部総会日程について（添付資料）

（事務局長）

これまで、１月に「今治支部」総会、２月に「愛光テニスクラブいきゅう会」総会３月に「中国地方支部」総会が開催されました。その後の予定としましては、資料に沿って説明しました。

（九州地区代表）

10 月 5 日の九州地区総会の場所が、オリエンタルホテル福岡博多ステーションに決まりました。先日、中国地方支部総会に出席させていただき、副代表から九州地区

総会に出席していただけるとのお約束をいただきました。これも地区間交流の良い例だと思います。

（中国地方支部副代表）

先日の中国地方支部総会について、会長始め各地区・支部の皆様にもご出席いただきありがとうございました。当日、あのような会は18時開演が多いのですが、二次会を長くとりたいということもあり、今年は17時開演と致しました。ただ、土曜日で交通機関が遅れたり、18時開演と勘違いされた方もおられました。この事は反省材料ではありますが、予定通り69名もの多数の参加があり、二次会も大いに盛り上がりましたので、ひとまず成功ではなかったのかと思っております。

皆様、ありがとうございました。

（会長）

中国地方支部総会に参加致しました。今、副代表からご報告のあった通りなのですが、思いのほか沢山の同窓生に集まっていただきました。代表、副代表である広島大、岡山大、両学長も出席していただきました。ただ、一つ学生の参加者がいなかったというのが残念でした。これは、案内の伝達方法や色々な要因はあると思いますが、学生での参加の場合の会費支援の案内など、もう少し次年度は考えて、出来るだけ学生さんも来ていただけるよう本部としても考えていきたいと思います。

また、この会で同窓生からプロの方が、素晴らしい歌とピアノを披露していただき、講演も大変興味深いものでした。その中で、同窓会に「文化芸術関係」の支部を作ってはどうかという話がありまして、面白いと感じており、其の辺も、今後温めていきたいと思っております。

（関東地区代表）

東瀬戸同窓会について、これまで高松で香川県の同窓生と会う会を持っていたのですが、せっかくならと対岸の岡山県、広島県の同窓生にも声掛けをしましたところ,岡山大の学長始め福山から２名、岡山からも２名、あと副会長も出席していただき、総勢16名で開催予定です。今後も継続開催できればと思っております。

　それと、東北地区ですが、立ち上げに向けた発起人会ということで、現時点で22名うち7名が学生です。事務局から40名の名簿登録同窓会員に案内ハガキを出してもらいました。ハガキでの参加は7名だけでしたが、他の方法でも呼びかけ、現在22名の同窓生が参加予定です。多くの出席者がございますので、個人的には総会まで持っていけたらとも思っています。

４．キャリアデータベース特別委員会について

担当副会長が 資料「キャリアデータベース事業について」に沿って説明しました。

説明後にいくつかの質問と意見が出ました。

今後、10月の立ち上げをめどに詰めていくことになります。

５．各委員会について

＊ 事業委員会　（副会長）

先般の卒業式で66期生卒業生にロゴ入りの目覚まし電波時計を同窓会から
プレゼントしました。

＊ 広報委員会　（副会長）

まずは「インテルノス」ですが、春号が発送されていて、届き始めているようです。23期の方に執筆していただき、「あおぞら銀行」の4人の方々のリレーでの「同窓会通信」となっています。次は夏号に向かってまた人選を進めるというところです。
それから、広報委員会の委員としましては、お一人、交代します。
あと、広報委員会は「同窓会だより」の編集がメインですので、取り掛かかりますが同窓会総会が少し早いこともあったり、いろんな意味で日程がタイトになることもあるので、締め切りをちょっと早くするということで作業も少し早めに取り掛かろうと思っております。春に1度、広報委員会の方に集まっていただいて、それで始めていこうと考えています。

＊ 総務委員会、組織強化委員会　（副会長）

私はこれまで通り総務委員会を担当させていただくこと共に、昨年まで別の副会長さんがやられてた組織強化委員会の方も、担当させていただくことになりました。
広く色々な方の意見を集めたいと思いまして、総務委員会、組織強化委員会それぞれに関して、1回リセットをさせていただき新たなメンバーを集めて再構成をしていきたいと思ってます。まだ最終が決まってませんので、また決まりましたら皆さんにお伝えをいたしたいと思います。

それと、例年、同窓会総会の翌日にゴルフコンペが開催されています。このお世話を相談役にお願いしておりました。今年から、次の方にバトンタッチされます。

（相談役）

14期の方がメインで、今年のコンペは開催していただきます。引き継ぎ会を4月にいたしますけれども、今後は14期の方々が共同でお世話をしていただけるということに決まっております。またご参加の方よろしくお願いします。
今年は「奥道後ゴルフクラブ」で開催する予定になってます。

＊ 女性委員会　（副会長）

女性委員会の委員は4名のメンバーの方が決まっています。活動は現在ちょっとできてないですが、今後進めていきます。

先ほどのキャリアベースの中で会長が同級の繋がりについて話されていたと思いますが、60期ぐらいの女性の方と話した時、学年でLINEグループがあると言っていました。お知らせとか案内に使えるようだったら、若い同窓生の人達には、活用していけるのではないかと思いました。

６．卒業式での同窓会費前納について

（副会長）

先日の66期生卒業式の時に前受金徴収で、当日172名からの入金があり後日49名の方に振込票を送りましたところ5名から入金があり、合わせて177名でした。昨年65期の前受金の数が178名でしたので、ほぼ同数です。今年の卒業生数は221名

でしたので８割の方からの入金がありました。

（司会：副会長）

先ほど会計担当副会長から、以上のようにご報告がありました
卒業式での同窓会費の前納に関しては、今年も非常に順調にいきました。
やはり、先ほどのキャリアデータベースも関わってくると思いますが、前受金のお礼にピンバッジをお渡ししました。これについてのお話にご父母の方々は大変興味を持っていただきました。また、今回の前受金は４年分ですが、医学部だとあと２年あります。４年経ったら、もう一度何かご父母の方々に案内をお出ししても良いかとも思っています。今年のピンバッジは、「創立 70 周年記念品」砥部焼のピンバッジでした。それも非常に好評だったように思います。

７．その他

（担当教諭）

＊ 卒業式での前受金について補足ですけど、以前案内していた今年の 66 期生卒業生に各地区・支部への登録をお願いしたいというメールを今週の初めに送付しました。
合わせて、過年度の卒業生のうち、メールアドレスを配布している 63 期以降にも、送付しました。まだ数日しか経ってないんですが、今のところ、今年卒業した 66 期生から 15 名が登録をしてくれています。それから、過年度卒業生 63 期から 65 期は 19 名登録してくれてます。今後どういうふうに推移していくか分からないですけれども 4 月以降、ある時期毎にまとまったデータを、今回、各地区・支部の窓口として指定していただいている方々に、次の担当の方から送らせますので、よろしくお願いします。

＊ 次に、同窓会への生徒活動支援のお願いですが、昨年から生徒活動支援についての規程が策定されました。それに基づいて、お願いです。
今、現在まさに春休み中の部活動ですけれど、ラグビー部 68 期生高校 1 年生、次の高校 2 年生の生徒が、明日から愛媛県の U-17 の代表に選ばれて、それに参加します。
それから 4 月に、ラグビー四国大会予選との大会に参加します。
通常公式戦になります。この生徒は寮生ですので、寮に泊めて、そこから通わせることが普通ですが、コロナ以降、休み中は寮を明けてくれないようになっています。
ですので、その補償として学校と寮から一泊合計 6000 円支給されるのですが、全然足りないです。今回、合計で 5 泊のホテル滞在が必要になりますので、学校と寮から合計 3 万円支給されますが、実費に不足が生じるため当該活動顧問から不足分について支援の要請がありました。５泊合計不足額 22,300 円の支給の御認可をいただけるようお願い致します。

（会長）

従前、決めておりました総額 10 万円の範囲の中で、同窓会担当教諭の判断で支出していただくということで、一応、私の方に連絡いただきましたので、先決をさせていただいております。ぜご承認をお願いしたいと思います。

→ **承認されました**

（事務局長）

＊ 訃報連絡

2 月 22 日　望月迪昭 先生

2 月 24 日　13 期：宮内雄介 様　（2/28 連絡）

3 月 3 日　3 代同窓会会長　1 期：佐伯善男 様　（弔電、供花）

3 月 9 日　9 期：中野訓親 様　（3/14 連絡）

3 月 14 日　数学科水木先生のお母様　（弔電）

3 月 16 日　体育科教員高橋先生のお父様　（弔電）

以上の方々のご逝去のご連絡がありました。ご冥福をお祈りいたします。
それぞれ規程通りに供花、弔電の手配をさせていただきました。

＊ 各期理事交代

49 期各期理事が交代しました。

＊ 準支部「愛光放射線科医会」

今年 1 月に問い合わせのあった準支部「愛光放射線科医会」ですが、3 月 21 日に事務局長から「会則」が送られてきて、3 月 28 日に申請書が届きました。
次回の常任理事会に提出します。

＊ 卒業 50 年同窓生の卒業式へのご招待について

他校のいろいろ事例を見てみますと、卒業後 50 年を迎えた同窓生の方々を本校の卒業式に招待して、参加をしていただくという事例があります。

ことの起こりは今年 50 周年の皆さんが 16 期ですね。その皆様が本校の近く松山で集まろうという話をお聞きしました。そういう時にタイミングを合わせて卒業式に集まれるのであれば、それも良いのではと思っております。

それで先般、卒業式の日に理事長と校長にその旨お話しをしましたら、それは良いことですねということで前向きなご意見をいただいております。

今日は、ご提案ということで、どういう形が良いのかといろいろとご意見をいただければと思います。また次回、検討、決定できればと思っております。

以上、常任理事会議事録について　議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人　鈴木　貴明　［確認日：令和 6 年 3 月 30 日］

議事録署名人　首藤　健二　［確認日：令和 6 年 3 月 30 日］